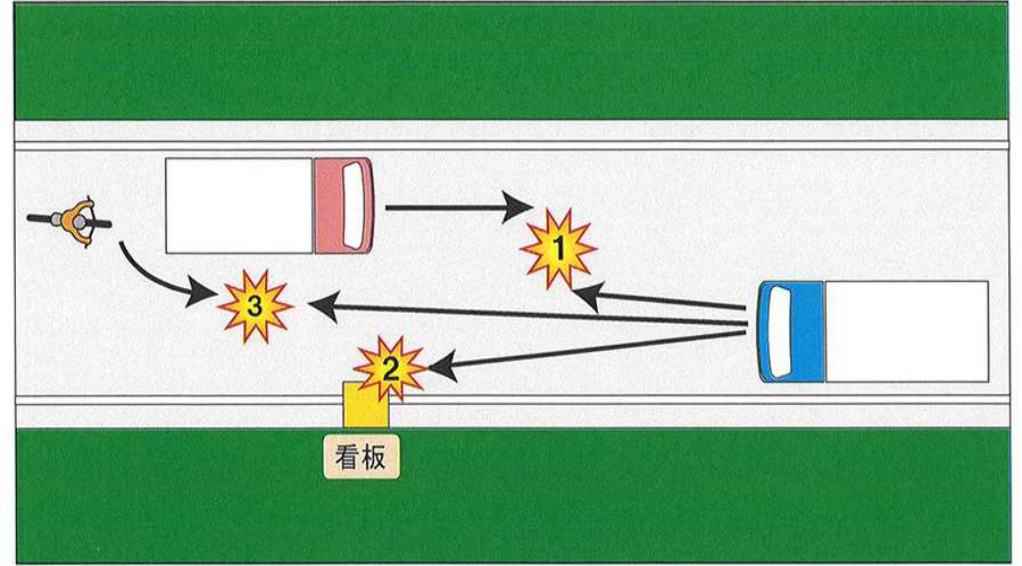
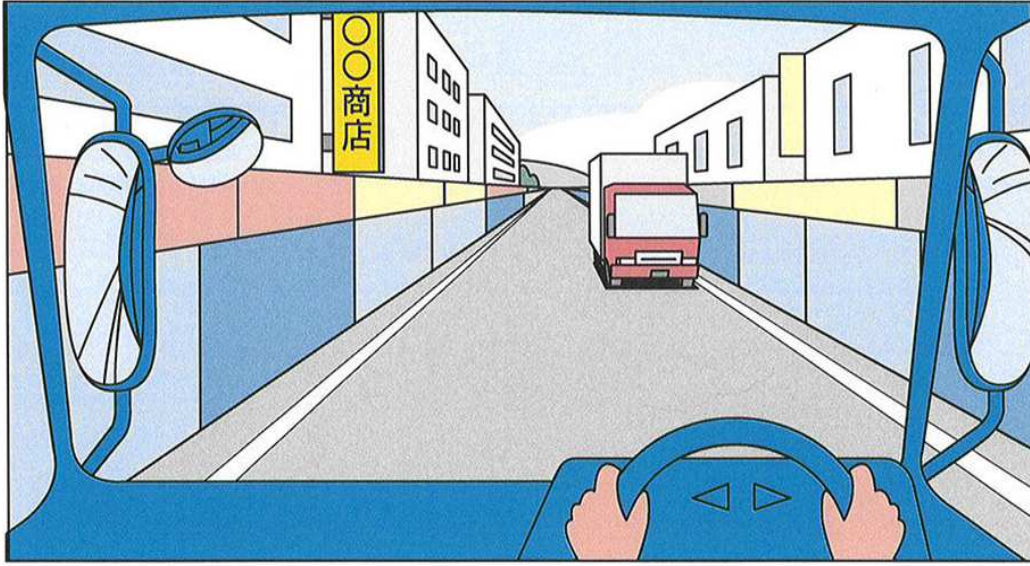


狭い、道路に注意



危険要因

- ① 対向車とすれ違うときに接触する。
- ② 対向車との接触を避けるために左側に寄り過ぎると看板と接触する。
- ③ 対向車が停止した場合、対向車の陰に隠れて見えなかった自転車が、停止した対向車の後方から道路の中央に出てきて衝突する。

安全運転の方法

- ① 狭い道路を走行するときは、あらかじめスピードを落としておくとともに、対向車が接近しているときは、自車が先に行こうとはせず、停止して対向車を先に行かせる。
 - ② 対向車に道を譲るために左側に寄るときは、上方の看板やひさしなどにも十分に注意する。
 - ③ 対向車の後方が死角となるので、そこから自転車などが出てくるかもしれないと予測しておく。
- ※看板やひさしなどのなかには、非常に高価なものもあるので、ぶつけても物損事故で済むといった安易な考え方は決してしないこと。
- ※自分の乗務するトラックの「高さ」と「幅」を、しっかりと頭に入れておくこと。